



2010.12.24 クリスマスイブのミサ (20時)

### 新年にあたって

助任司祭 アンジェイ

新年の挨拶を交わし、新たな希望と幸いへの願いに包まれる元日は、教会にとつて、神の母聖マリアの祭日であり、恵み豊かな父である神が、マリアを御子の母として選び、人類に救い主を与え、全世界を恵みと祝福で満たして下さったことを祝う祭日です。

元日は、教会にとつて、世界平和の日という祈願日でもあり、私たちは、聖母マリアの取り次ぎを願って、平和な世界を希求し続けるようにと呼びかけられています。今年も、私たちに「平和への道としての信教の自由」という教皇のメッセージが伝えられています。私たちは、全世界の人々と心をつなげて、世界平和を祈るようにと招かれています。

新年にあたって、私たち一人ひとりが、また教会の共同体として、聖霊に導かれて、聖母マリアの取り次ぎに支えられて、主イエス・キリストが示して下さった信仰と希望と愛の道を歩み続けることができますように、また神の祝福と恵みと平和が私たちと全世界の人々の上に豊かにありますように。

#### 平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

#### 主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(at the Maria Kan Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

# 祝 新成人



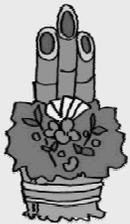
渡邊  
沙織  
さん

鶴飼  
力也  
さん

西尾  
祐一  
さん

柴垣  
有里  
さん

梅村  
ゆりあ  
さん



2011.1.1 新成人の祝福



2010.12.31 旧年感謝・新年を迎えるミサ

クリスマスパーティーへの  
ご協力ありがとうございました

松浦 典文

クリスマススイブ20時のミサ後のパーティーが盛大に催されました。三百人近い方が参加してくださいましたと思います。

このパーティーは、有志の方々のご奉仕により成り立っていました。まず、様々な食べ物や飲み物のご寄付をいただきました。また、パーティー中の給仕や準備、片付け、掃除にも多くの方々のお力をいただきました。



おかげさまで、素敵なクリスマススを過ごすことができました。ありがとうございます。



ボーイ親子ハイイクで多治見修道院へ

伊藤宗太郎

去る十二月四日・五日にボーイ97団は親子総勢60人でハイキングを行う。交通機関は南山教会中庭から地下鉄、市営バス、JRを利用。

ボーイ達18名は野営の重装備を背負って定光寺駅から東海自

然歩道へ。格好良くスカウト教科訓練「パトローリング」隊形を組んだが、急な山道をハーハーと登った。地図で進路を判断するが、目的地「地球村」にたどり着けず、四苦八苦。一部の隊は車の救援を受け、一部は迷いながら目的地に一時遅れて到着。お腹ペコペコ、遅い昼飯を食べた。

一方、カブ、ビーバー隊は親子合わせて42名多治見駅から歩いて楽々修道院に到着。昼食後、近くの永宝寺まで和気あいあいとハイキングをした。

夕方、全員が修道院に揃い、庭で夕食づくりの競演だ。カレーライス、クリームシチュー、トマト・チーズ鍋など、美味しく食べた。

夕食後、各隊が得意のイベントを披露、家族と楽しく過ごす。10時消灯、カブ、ビーバーは暖かいログハウスへ、ボーイは寝袋を担いでテントへもぐり込む。深夜は零度以下に冷え込み、毛布をかけて眠りについた。

翌朝は早朝に起床。牛乳、ウインナー、卵の朝食を食べて、多治見教会でミサにあずかった。

り、修道院周辺を散策したりした。JR、バス、地下鉄を乗り継いで、お昼過ぎに全員教会中庭に帰ってきた。オツカレサマ!



### ボーイスカウトの餅つき大会

日時 2011年1月16日  
午前10時～お昼まで  
場所 南山教会中庭  
館ころ餅・キナ粉餅・雑煮等

食べ放題!



どなたでも参加できます。

餅つきの実演も参加してください。

主催：ボーイスカウト名古屋東97団

# 愛と苦しき (その23)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

## 6.3 新しい永遠の契約

「それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。」ルカ 22・19・20

十字架上でイエスが父である神にささげたのは、ご自分の苦しみや死ではなく、ご自分の命、ご自分自身なのです。それは、父である神への完全な愛の表現でした。同時に、イエス・キリストにおいて神は、すべての人にご自分の無限の愛をお与えになり、この愛が絶対に変わることがなければ、消えることのないということを示してくださいました。この二つの完全な愛の出会い、そしてこの愛の相互の奉獻によって、神とイエ

もあるのです。「ガラ 4・4-7

神は、この新しい契約にあずかるすべての人に、愛そのものであり、ご自分の命である聖霊をお与えになることによって、この人をご自分の子どもにしてくださいます。結果的にこの人は、神の国の市民、神の家族の一員となるわけです。

十字架上で結ばれた新しい契約によって、例外なくあらゆる時代のすべての人々に、神の内なる命に参与する可能性が与えられると同時に、完全な癒しが与えられます。

参照：エフェ 2・19・22

## 6.4 十字架から注がれる癒し

「イエスは」、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きるようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。あなたがたは羊のようにさまよっていました。今は、魂の牧者であり、監督者である方のところへ戻って来たのです。」1ペト 2・24・25

神は愛そのものであり、愛の

源です。神との正しくない関係は、人間に愛するという最も優れた能力を実現することを不可能にしますし、人間の他のすべての不幸の最終的な原因なのです。そのため、神との正しくない関係を人間の最も大きな問題、人間の最も重大な病気として認めることができると思います。この病気は、人間を肉体の死だけではなく、霊的な死へ、一時的な苦しきみだけではなく、永遠に続く苦しきみへと導くものなのです。

ご自分の生き方、特にご自分の受難と十字架の死を通してイエスは私たちに神の真の「姿」、神の偉大な愛を現してくださることによって、私たちが神に対する恐れから解放すると共に、神のもとに近づきたいという望み、神と和解し、親しい交わりの内に生きたいという望みを起こしてくださいます。十字架上で新しい永遠の契約を結んでから、神の霊を遣わしてくださいましたことによってイエスは、すべての人々に神への道を開き、神との愛の交わりに生きることができるようになりました。愛に苦しきみが伴っても、その愛に忠実に生きることが、人間

参照：ヘブ 10・16・18

ス・キリストが代表された全人類との間に新しい永遠の契約が結ばれました。この新しい契約によって、神と人類は和解したわけですので、この契約を通して、原罪と他のすべての罪によって人間と神との間に作られた底のない淵が埋められたと言えます。この契約によって、今どんな人でも、神に近づくこと、神との愛の交わりに生き、神と一つになることができるようになったのです。

「しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子とさせるためでした。あなたがたが子であることは、神が、「アッバ、父よ」と叫ぶ御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださいました事実から分かります。ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人で

の強い意志によってではなく、神ご自身の力によって可能になります。もし、私たちは、イエスと同じように、色々な体験を通して父である神の愛を知るようになり、心を開いてこの愛を受け入れるならば、私たちは本当に神によって愛されていて、神の真の子どもであるという強い実感を持つようになります。そのとき、神の愛は、いつも私たちの内に燃えつづけ、私たちを燃え上がらせるようになります。神の愛で燃えるようになります。私たちが、神との繋がりを保つために、またはこの繋がりをも深めるために、何よりも神の意思に従って生きたいと望むようになります。さらに、私たちが神の子どもであるという事実は、私たちの最も深い本性となり、私たちのすべての選択や決断や振る舞いに決定的な影響を及ぼすようになりますので、私たちは、神の国の到来、つまりすべての人々が愛によって神と他の人々と結ばれるようになって、一つの神の家族になるという神の望みが実現されることを何よりも切に求めるようになり、そのために献身的に働くようになります。神の愛と神の子どもであるという事実、または、神の国のビジョンが私た

ちの最も大切な宝と同時に最も強い原動力になるときに、何も私たちが神とその愛から引き離すことができませんので、私たちは安心してイエスに従い、イエスと共に生きることができるようになります。そのとき、私たちは、イエスと同じようにどんな状況においても、出会う一人ひとりを愛することができるようになり、私たちの最も深い本質に沿って生きるようになります。そのような生き方が私たちの癒しの過程の完成の結果であるわけですので、この癒しこそ、私たち一人ひとりが何よりも必要としている救いなのです。

参照… 1ペト2・19・25  
ロマ 8・35・39  
ルカ 12・49

### 6.5 イエスを知ること

「永遠の命とは、唯一のまことのお遣わしになったイエス・キリストを知る事です。」ヨハ 17:3

神に近づくことや神の愛を受け入れることは、イエスの教えを知るとかイエスを通して行われた啓示を理解する結果ではありません。それは、イエスご自

身を知る結果なのです。しかしイエスを知るということは、決してイエスについて色々な情報を集めたり、イエスに関する色々なことを覚えたりするような理性的な問題ではありません。イエスを知るということは、イエスご自身と出会い、イエスとの友情の関係を結ぶことなのです。確かに、イエスの生き方や教えを知るために、またはその理解を深めるために、聖書、つまり神の言葉を読んだり、それを黙想したり、それについて勉強をしたりすることなどは、非常に重要なことなのです。けれども、それは、イエスと出会うための準備に過ぎないものなのです。最も重要なのは直接にイエスに向けること、つまり個人的な祈りとイエスを自分の生活に受け入れることなのです。

私たちは、どんな状況においてもイエスと共に親しい交わりの中に生き、それは、簡単であつても、難しいことであつても、いつもイエスの生き方を模範にし、イエスの教えを道しるべにしながら、イエスに忠実に従うならば、私たちのイエスとの絆が段々と強まり、イエスとの関係は深まっていきます。その過程の結果として、私たちはイエスと一つになり、イエスの似姿になるといふことなのです。イエスを知るといふことは、実際に自分自身、自分の本性を知ることであります。そして、イエスと同じ姿になるといふことは、私たちの父である神が私たちに最初から求めておられた姿になること、創造主である神が創造のときに定めた目標に達することなのです。自分の人生の目標に達して、真の自分になること以上に大切なことがあるのでしょうか。私たちは父である神に、他の人々に、全世界に、さらに自分自身にこれ以上に素晴らしい贈り物を与えることができるのでしょうか。自分自身にとつても、他の誰にとつても他の価値もなく、幻想である他の目標を目指すこと、そのために力を尽くすことには何の意味があるのでしようか。それは、自分の力や、人生そのものを無駄にすることではないのでしょうか。

参照… ヨハ 14・6  
フィリ 3・8  
エフェ 3・17  
19  
一ヨハ 3・1・2  
二コリ 3・18

(つづく)

## 教会学校の子供達の病院訪問

教会学校リーダー 伊藤恭輔

12月12日、子供たちが聖霊病院に入院している患者さんのところへ訪問致しました。子供達が心をこめて作ったクリスマスカードを持って。

病院訪問する前に、ある信者さん方が子供たちの作ったカードが見たいと言うので、子供たちには内緒でちよつとだけ見せてあげました。(子供のみなさん、ゴメンナサイ。)

ステンドグラス風の塗り絵で作ったクリスマスカードが綺麗だと感心してくれたのですが、それ以上に子供が自分の言葉で書いているメッセージやサンタさんの絵などに心が動かされたようでした。このサンタさんの絵うまいね、クリスマスツリーの絵も上手、はやく良くなりませうように、幸せをプレゼントとしておくります・・・などが書かれたカードに、すごいね、子供たちって、とおっしゃってくれました。

カードを見ていたもう一人の人も、感激して目頭がうるんでしまいました。そして、こう教え



てくれました。「前にね、その病院で入院していらした方が、子供のクリスマスカードをもらったことを嬉しそうに話してくれたことがあったのよ」って。別の信者さんからも「主人が入院していた時に頂いたクリスマスカードがとても嬉しかったです。このことは忘れないわ。」とおっしゃって頂きました。私もそばで見えていて、いつも子供たちの素晴らしさを感じていますが、子供たちの宣教って、改めてすごいなと思います。

さて、ミサ後、子供たちと一緒に病院へ向かいました。病室に入る前に、聖堂でご聖体を訪問し、シスターさんから注意事項を受け、その後、顔も名前も知らない患者さん方のために子供達はお祈りしました。

その後、グループに分かれて病室へ向かいました。病室では、おそるおそるカードを手渡す子供たち。無理ありません。知らない人ですし、病気やけがで入院中の人ばかりですから、どう接していいのか、レクチャーを受けても実際のところは分からないのです。

でも、とうとう自分の番が来ると子供達は勇気を振り絞ってカードをプレゼントするために病室へ入りました。落ち着いた余裕のある子もいますが、中には恥ずかしさのあまり、教わったとおりの言葉を早口でまくらたてて出てくる子供もいます。「クリスマスおめでとうございますはやくよくなりませうように」。

それでも、患者さんは喜んで受け取って下さったようです。起き上がることもできないベッド

から、一生懸命お礼を言って下さる方。ゆつくりと、しかも震える手でなかなか開かないカードを一生懸命開いて見ようとされる高年齢の方。わざわざ病室の出入り口まで見送って揃って深々とお辞儀をして下さるご家族。

子供たちに聞いてみると、皆喜んでくれたよ、と答えてくれました。「おばあちゃん、かわいい」と話す子もいました。そんなこんなで子供たちは今年も良いクリスマスを迎えられました。聖霊病院のシスター、看護師、医師の皆様、ありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。



南山教会を訪れた中学生の手紙

江南市立宮田中学校1年

堀場 美波様より

江南市立宮田中学校1年

安立 大依我様より

拝啓 最近、寒くなってきました。先日はお忙しい中、ぼくたちのためにいろいろとご配慮・ご指導をいただき、ありがとうございます。

ぼくは、前に行ったキリスト教会とは違うことや、前に行ったキリスト教にはなかった物を教えてくれたり、見せてくれてありがとうございます。

ぼくが一番印象に残ったのは、れいはい堂です。前に行った所よりも、何倍も大きくて、本当にびっくりしました。キリスト様のお父さんやお母さんもいてすごいと思いました。

あとぼくが一番印象に残った話は、キリスト様はどんな罪をおかした人でも愛しているという話です。殺した兵士を赦して下さいとキリスト様が言っていたことを知って、キリスト様はすごいと思いました。

ぼくはこのキリスト様のお話などをきいた体験をこれからの学習や生活に生かし、自分の将来に役立てていきたいと思っています。

たいへんお世話になりました。

敬具

拝啓 先日は、お忙しい中、わたしたちに色々なことを教えていただき、ありがとうございます。

今回の活動を通して、プロテスタント教会との違いや、イエス・キリスト様ほどのような方なのかを深く知ることができました。前回行った古知野の教会では知ることができなかったことを知ることができました。とても大きな教会で、オルガンもとても大きくてびっくりしました。

たくさんの像があつて、だれがどれか分からなかったけど、神父さんがていねいに教えて下さったおかげで、なんとか区別がつくようになりました。資料などもたくさん下さつてありがとうございます。いろいろなイベントにもでてみたいと思います。

また、もしひまなとき(部活でいそがしいですが)があつたら、また、うかがいたいと思います。私もこれから自分でインターネットなどでキリストのことを調べていきたいと思っています。

今回、学んだことをこれからの学習や生活に生かし、自分の将来に役立てていきたいと思っています。たいへんお世話になりました。ありがとうございます。

敬具

カトリック教会のカテキズムより

- 1322 聖体(エウカリスチア)の秘跡で、キリスト教入信は完了します。洗礼によって王的祭司職にあげられ、堅信によってキリストにいつそう似た者とされた人々は、聖体(エウカリスチア)によって、共同体全体とともにキリストの奉獻にあずかります。
- 1323 「わたしたちの救い主は、引き渡されたその夜、最後の晩さんにおいて、御からだと御血による聖体の犠牲を制定されました。それは、十字架の犠牲を主の再臨まで世々に永続させ、しかも、愛する花嫁である教会に、ご自分の死と復活の記念祭儀を託すためでした。すなわち、これは、いつくしみの秘跡、一致のしるし、愛のきずな、キリストが食され、心は恩恵に満たされ、まして未来の栄光の保証がわたしたちに与えられる過越のうたげです」。
- 1324 エウカリスチア(感謝の祭儀)は「キリスト教生活全体の泉であり頂点」です。「諸秘跡も、また同様にすべての教会的役務も使徒職の仕事も、すべては聖体祭儀と結ばれ、これに秩序づけられています。事実、もっとも尊い聖体祭儀の中に教会の霊的富のすべて、すなわち、わたしたちの過越であり生けるパンであるキリストご自身が含まれています」。
- 1325 「神の生命への交わり(コムニオ)と神の民の一致とによって教会が存在するのであって、聖体祭儀はこの交わりと一致を適切に表現し、みごとに実現させます。聖体祭儀は、キリストにおいて世を聖とされる神の働きの頂点であり、さらに、人々がキリストにささげ、またキリストにより聖霊において御父にささげる礼拝祭儀の頂点です」。

# 南山句会

平成二十二年十二月一日



小春日に居眠り誘ふ讀書かな

かさこそと乾きし音の冬近し

公園に銀杏拾ふ影一つ

初氷絹敷く如く光りをり

胸内にパウロの書簡散る紅葉

今日のことこもごも話しみかん剥く

入院を待つ日の夫や落葉掃く

秋時雨とまりしままの掛時計

主のなき我が家の庭の冬薔薇

気ばかりで片付かぬまははや師走

大いなる神父の手より千歳飴

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館一階集會室

義子 光子 蓉子 とく子 佐知子 牧子 せつ子 洋子 幸男 紀子 瑞子

## 信者の消息

### 結婚

♡ お幸せに♡

- 1 1月27日  
金山敦思 ♡ ベルデッタ辻 真友子  
1 2月12日  
山下剛広 ♡ マリア・アンジェラ大森 愛

### 転入

ようこそ

- フランシスコ・アウグスチノ 山本善彦 (東山)  
クララ 山本祐子 (東山)

### 転出

いつまでもお元気で

### 帰天

ご冥福をお祈りいたします

- マリア・マグダレナ 小幡美登理 (87歳)  
Sr. Thoma Anna Tellen (97歳)  
フランシスコ・ザビエル 近藤浩一 (85歳)  
マリア 久保 栄 (87歳)

- ジョージ 藤田修平 (豊中)  
マリア 藤田総子 (豊中)  
マリア 藤田百合絵 (豊中)  
ジョージ 藤田隆平 (豊中)

## 2011年1月・2月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
1月	1(土)神の母聖マリア・世界平和祈願日 2(日)主の公現 9(日)主の洗礼	1(土)10:00新年平和ミサ・成人式 26(日)管区に予算書提出	9(日)運営委員会 9(日)教会学校始業式 14(金)マリア会新年会 15(土)10:30子ども部屋 16(日)典礼委員会 16(日)新春餅つき大会(ボーイ) 22(土)要約筆記付きミサ 23(日)ヨセフ会新年会	1(土)世界平和の日 16(日)信徒協「司教を囲む新年の集い」 18(火)～25日キリスト教一致祈禱週間 20(木)司祭協議会 31(日)児童福祉の日特別献金
2月		20(日)9:30堅信式・日英合同ミサ	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)運営委員会 13(日)典礼委員会 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ	16(水)四旬節愛の献金(四旬節中) 17(木)司祭協議会 24(木)司祭評議会